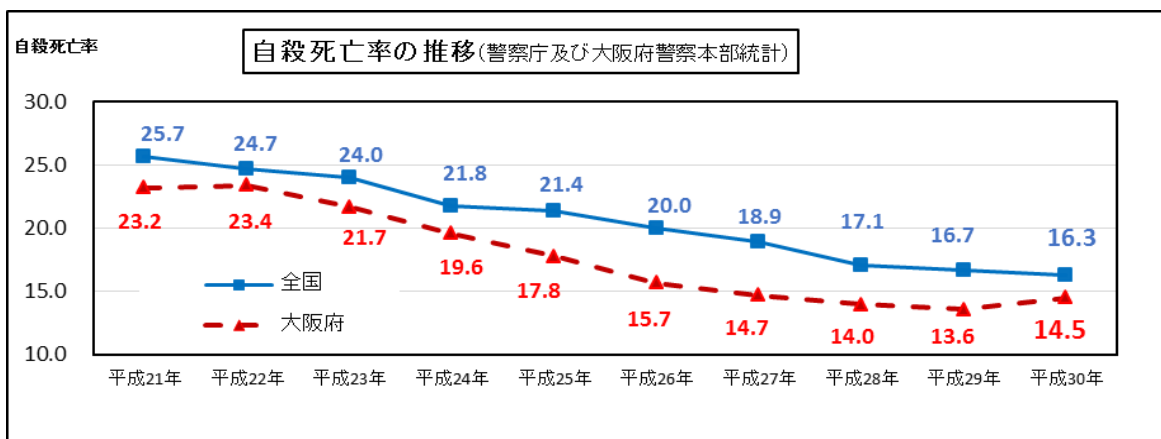
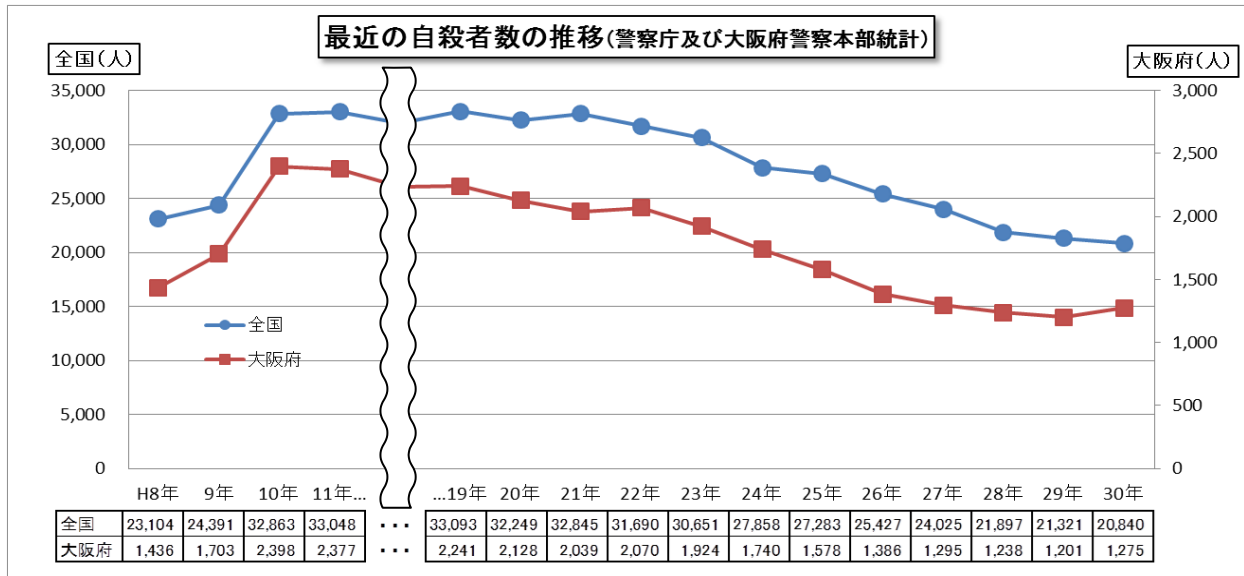


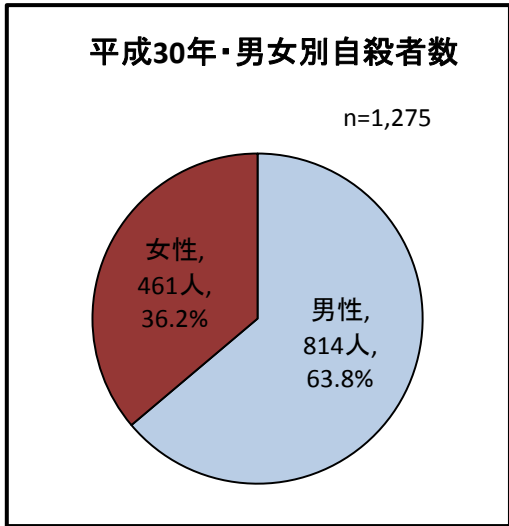
大阪府の自殺の概要<平成30年>

※警察庁及び大阪府警察本部統計(発見日・発見地)

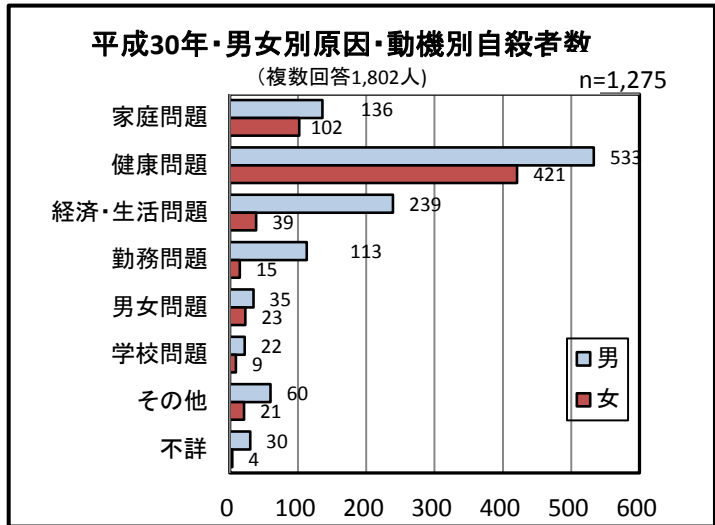


全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

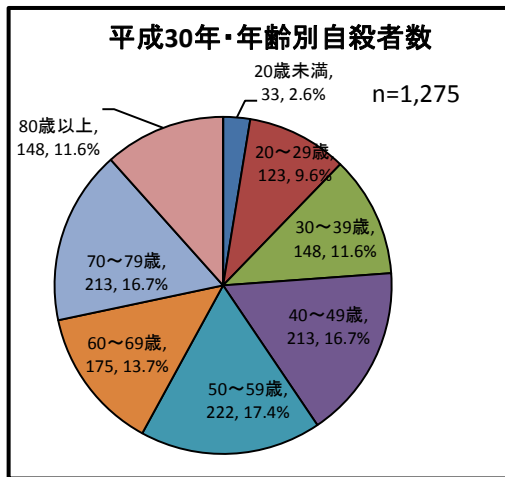
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向なり、2千人を下回りました。平成30年は前年より74人増の1,275人となり、依然として1日に3人以上の方が亡くなられています。自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は14.5となっています。



男女別自殺者数は、男性が814人（63.8%）、女性が461人（36.2%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。

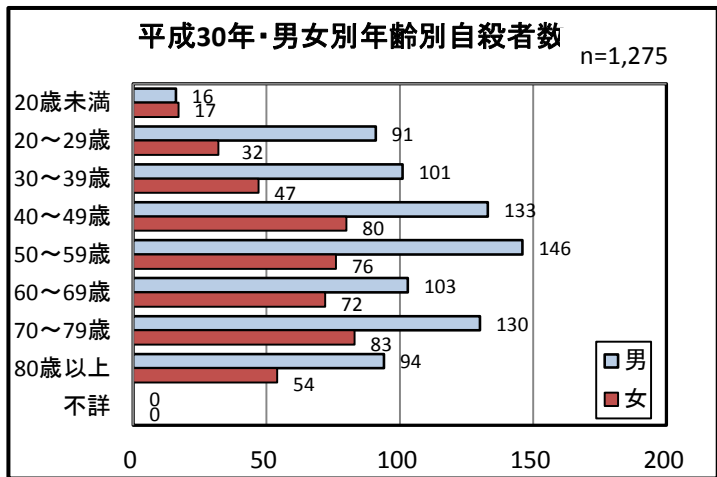


平成19年から原因・動機を3項目まで計上することとなっており、昨年同様「健康問題」「家庭問題」「経済・生活問題」の3項目が男女ともに上位を占めています。



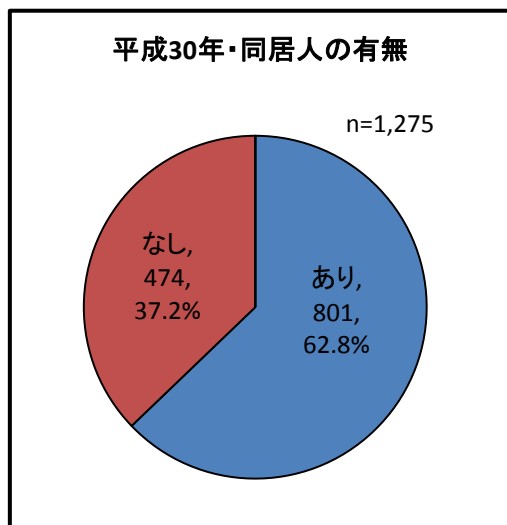
年齢別自殺者数は、「50～59歳」が222人（17.4%）と最も多く、次いで「40～49歳」「70～79歳」が213人（16.7%）と続いています。

また、39歳以下の若年層の自殺者数は304人です。

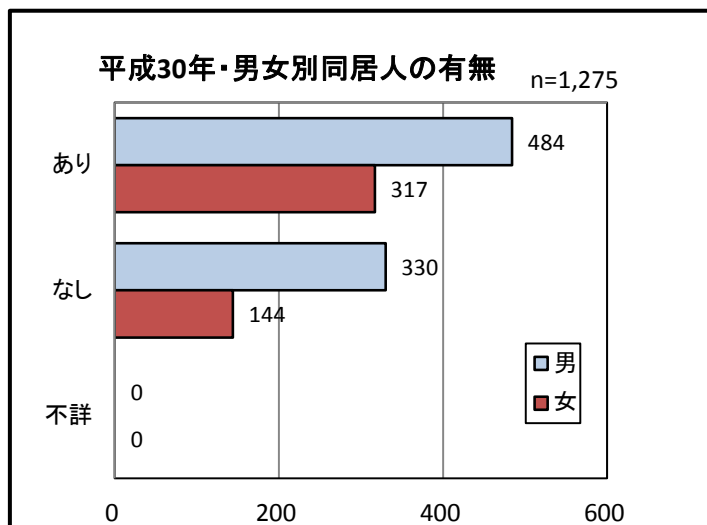


男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50～59歳」（17.9%）が最も多く、次いで「40～49歳」（16.3%）が続いています。女性は「70～79歳」（18.0%）の自殺者数が最も多く、次いで「40～49歳」（17.3%）が続いております。

前年と比べると、男性では「50～59歳」が21人増・「60～69歳」が25人減、女性では「20才未満」が12人増・「60～69歳」が19人増で、男女ともに80歳以上が多くなっています。

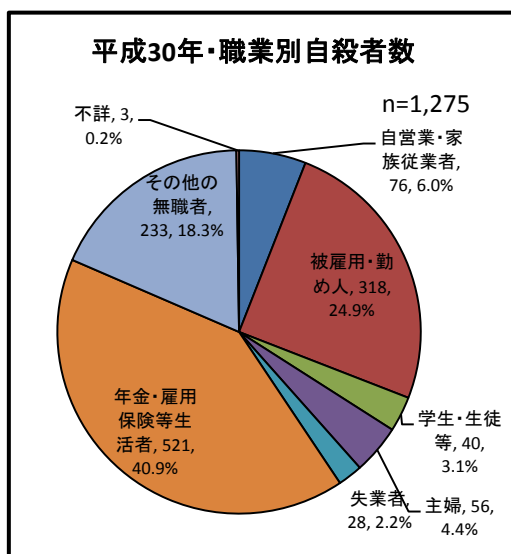


同居人の有無では、「同居人あり」が801人（62.8%）、「同居人なし」が474人（37.2%）となっており、「同居人あり」の方が6割強と多くなっています。

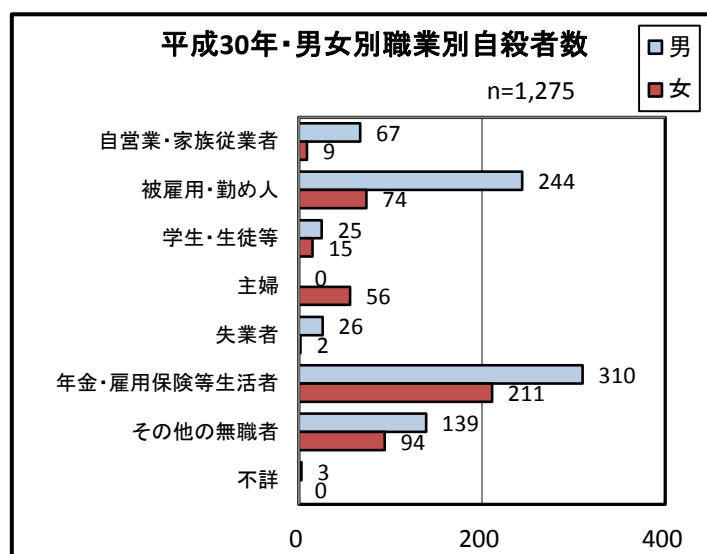


男女別の同居人の有無では、男性484人（59.5%）、女性317人（68.8%）が「同居人あり」で、男性330人（40.5%）、女性144人（31.2%）が「同居人なし」でした。

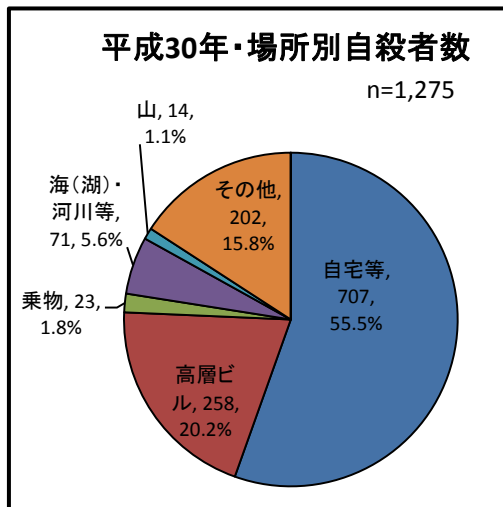
割合で見ると、女性の方が「同居人あり」が多くなっています。



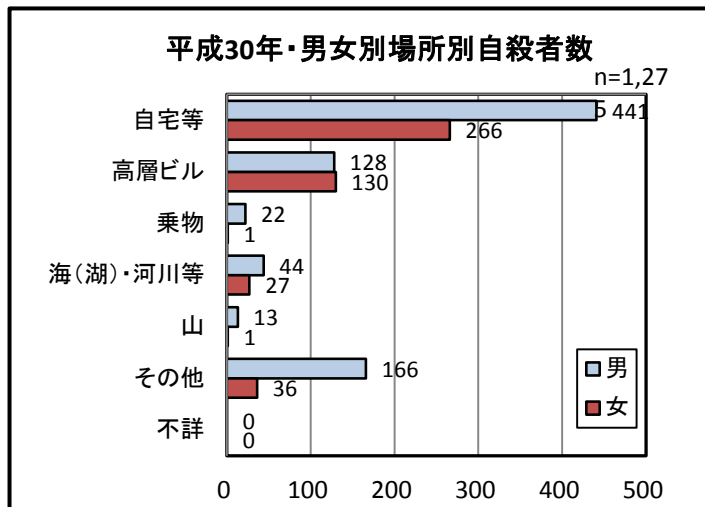
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が521人（40.9%）と最も多く、昨年より61人増えています。次いで「被雇用・勤め人」が318人（24.9%）となっています。



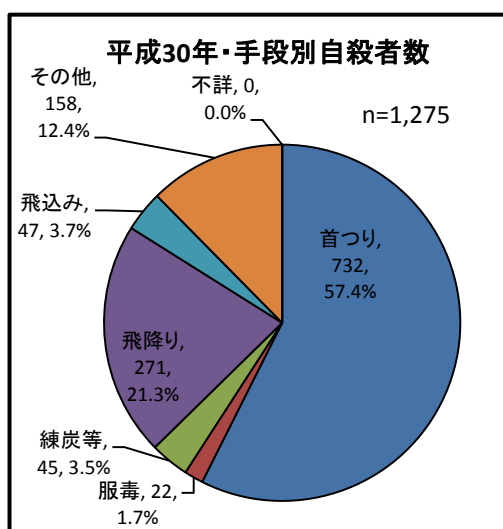
男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「年金・雇用保険等生活者」（38.1%）、次いで「被雇用・勤め人」（30.0%）が多く、女性は「年金・雇用保険等生活者」（45.8%）、次いで「その他の無職者」（20.4%）が多くなっています。



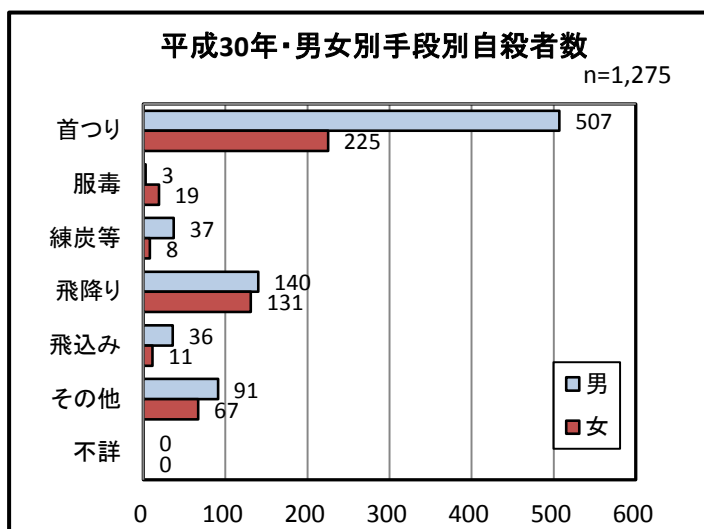
場所別自殺者数では、「自宅等」が707人(55.5%)と6割強を占めています。次いで「高層ビル」が258人(20.2%)と続いています。



男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで男女ともに「高層ビル」と続いています。

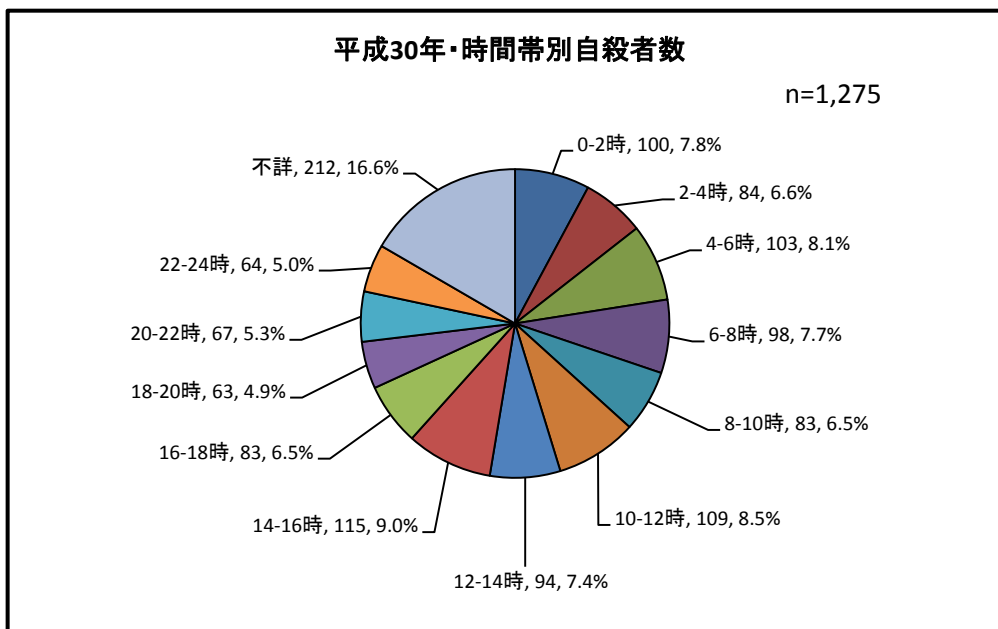


手段別自殺者数では「首つり」が732人(57.4%)と6割強を占めています。次いで「飛降り」が271人(21.3%)となっています。

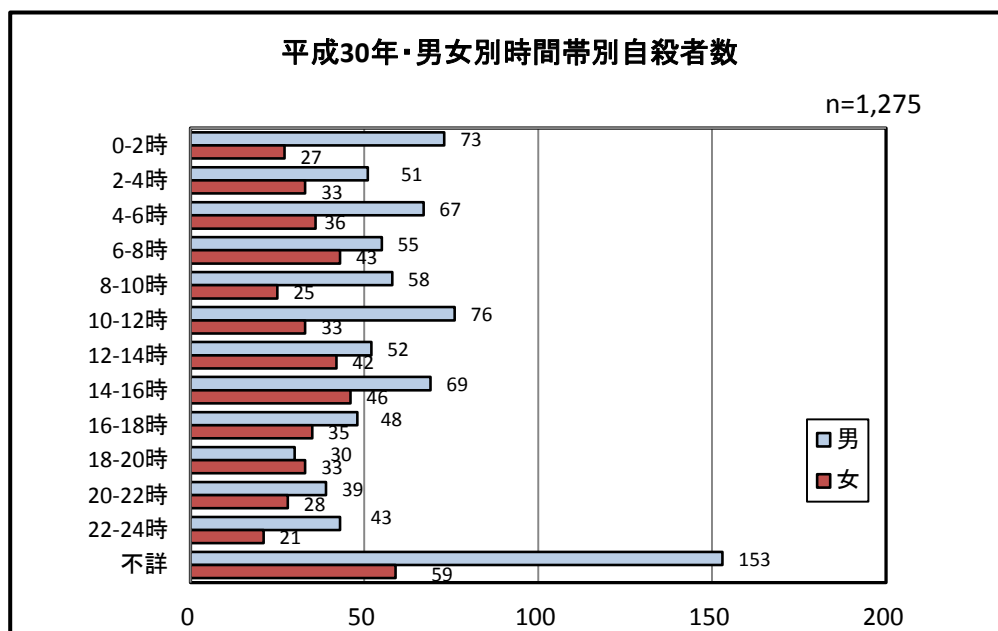


男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。

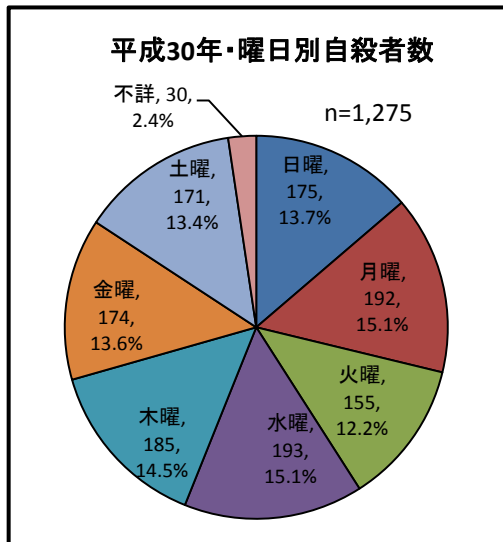
昨年と比べ、男女ともに「首つり」「飛降り」が増え、男性の「飛込み」も増えています。



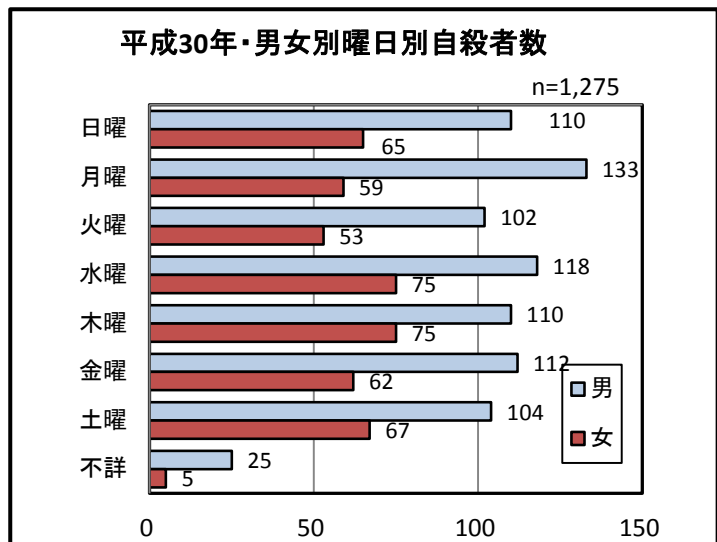
時間帯別自殺者数の割合では、どの時間帯も大きな差はみられませんが、「不詳」以外で最も多い時間帯は「14～16時」の115人（9.0%）で、少ない時間帯は「18時～20時」63人（4.9%）となっています。



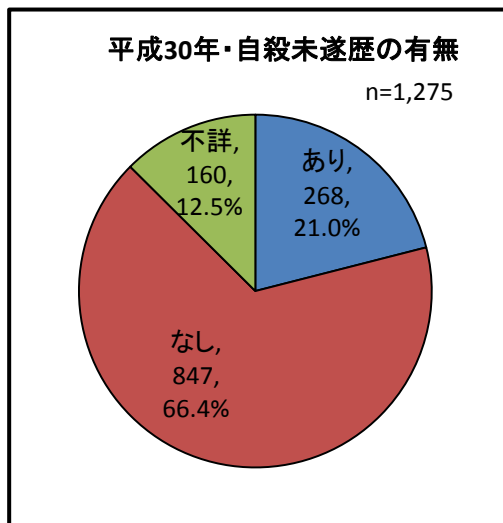
男女別の時間帯別自殺者数については、男性で多い時間帯は、「10～12時」、女性は「14～16時」となっています。



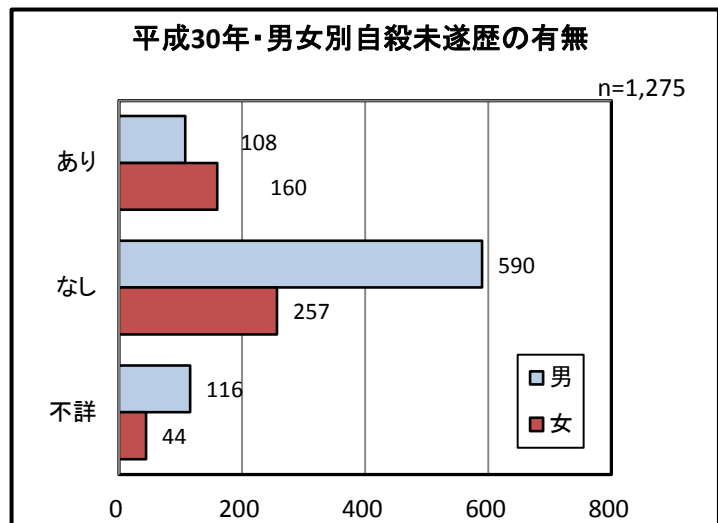
曜日別自殺者数の割合に大きな差は見られませんが、「火曜日」は若干少なく、「水曜日」「月曜日」が若干多くなっています。



男女別の曜日別自殺者数では、男性では「月曜日」、女性では「水曜日」「木曜日」が多くなっています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は268人(21.0%)、「なし」は847人(66.4%)となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は108人(13.3%)、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は160人(34.7%)となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性よりも多くなっています。